

次の飢饉まで
開けるべからず

主な内容

- 特集 振り返り次に備えよう 2-7
- かわらばん(思いやり駐車場制度スタート) 8
- まちかどスケッチ(スポーツ少年団受賞ほか) ... 10
- 2011津南町5大ニュース募集 11



振り返り次に備えよう

あの日、地震が起こるとわかっていたら、誰もが、備え身構えた。いつ起こるか、わからないのが自然災害。常に緊張感を持ち続けることは、難しい。だが、一度来たからもつ来ないと、誰が言い切れる。今年1年を振り返り、また備えよう。

津 南の恵まれた自然は時として、災害の脅威として私たちに襲いかかります。

近年、災害に対する備えは、町民の生命財産を守るために必要不可欠な公共サービスとして重視されています。

しかし私たちの先祖は、公共サービスのない時代から、「家族」そして「集落」単位で暮らしを守ってきました。それには、代々受け継がれてきた災害が起こる前ぶれや、危険な場所などの「防災の知恵」があったはずで。

今回の特集では、先祖から伝えられてきた災害にまつわる話として、今年地震を振り返ります。ぜひもう一度、災害に対する日ごろの備えについて考えてみてください。

津南町と災害

津南町の名前の由来をご存じでしょうか。「清津川以南」という意味で、清津川より南の地域を指し、明治以降一般に津南と言われるようになったといえます。この津南の「津」がつく地名は全国各地にあります。いずれも川や港などの水に関わりが深い地域といわれています。

津南町は、信濃川、中津川、志久見川、清津川などの大きな川のほか、山々から流れ出す小川を含めれば、川のない集落を探す方が難しいほど水と自然に恵まれた町です。

一方で、その豊かな自然は、水は「水害」、山は「土砂災害」といつも背中合わせです。また日本有数の豪雪地帯であることから「雪害」や、平成13年以降は、ほぼ3年に一度は大きな地震が起こるなど、地震も起こりやすい地域となっています。



2000年語り継がれる災害の記憶

津南町のある旧家の蔵に「次の飢饉まで開けるべからず」と代々語り継がれる「みそ樽」があることがわかりました。長年、飢饉がおきたときのための備えとして受け継がれてきたこの「みそ樽」をはじめ開けてみることにしました。

岡 にある蔵に保存されていたこの「みそ樽」が、いつごろから保存されているのか正確なところはわかりませんが、しかし「前の飢饉でも開けなかった」ともいわれていることから、1782年の天明の大飢饉ごろと思われる。この大飢饉では、浅間山の噴火による火山灰と冷害が重なり、東北地方で数万人の死者を出したといわれています。津南地域が小千谷の庄屋、佐藤佐平治から支援を受けたのは、この天明の大飢饉です。この地方にも大きな被害をもたらしたはずで、これらの飢饉で得た経験から、次の世代がこれらの災害から生き残れるように「みそ樽」を用意したのでしよう。

時代が移り変わり、「飢饉」の心配もなくなり、10月にこの「みそ樽」は関係者により開けられました。中身は残念ながら、食べられる状態ではありませんでしたが、先祖が遺したかった「災害への備え」という気持ちは、これからのこの「みそ樽」とともに後世に受け継がれていくことでしょう。



200年以上の歳月を経て開けられた「みそ樽」。すでに水分は抜け、ガチガチに固まっています。保存用にしかれたスギの葉を取りのぞくと、大豆に多く含まれる硫黄の匂いがしたそうです。

言い伝えを守って避難

長野県北部地震の次に私たちに襲いかかったのは、「新潟・福島豪雨」と名づけられた「大雨」でした。津南町では人的被害はありませんでしたが、隣の十日町市では、甚大な被害を残しました。十日町市で起きた土砂災害の中で、先祖の言い伝えを守り避難したことで助かった事例を紹介します。

住 宅の裏に山があるAさん宅では、400年前の江戸時代にも土砂災害が起きていて、代々「大雨のときは気を付ける」と言い伝えられてきたそうです。7月27日から降り続いた雨は、翌日になっても勢いがやみませんでした。そこでAさんは夜から、先祖の言い伝えを守り1階のいつも寝室を2階の山から一番遠い部屋に移して寝ることにしました。29日の夜、停電後に、草木の変な匂いとともに変わった音がしました。確認しに裏手にまわったところ、土砂とがれきが自宅にだれ込んでいました。

なんと土砂に押しつぶされた部屋は、いつもの寝室だったそうです。Aさんは、高齢で足が不自由だったため、避難場所に移動することができず、自宅の中で、比較的安全な場所に避難することで最悪の事態を回避することができました。言い伝えがあったことで、迷わず避難を行うことができた良い事例です。



普段の寝室

津南町でも土砂災害の危険性が高まると、この事例のように山側から離れた2階への避難を呼びかけています。今回の事例は、この呼びかけが有効であると証明してくれました。土砂災害や雪崩の危険性を感じたら、山から離れた部屋で過ごすようにしましょう。



安心を人任せにしない

安心は、誰かが用意してくれるものではない。自分で、もしくは自分たちで、一歩ずつ築きあげていくもの。人任せにしない防災。それが安全安心な町への第一歩。

救急車で一度に運べる人数は、多くありません。今回の地震や水害のように、自然災害は、大規模広範囲に起こりますからケガをしても救助が、あなたのところに最初に来てくれるとは限りません。また道路が壊れたり、雪崩・土砂崩れによって通行止めになることも考えられます。

大規模災害が起きたとき、一番の救済者は、家族や近所の人、地元消防団です。日ごろから、家族で災害時にはどうするかを話しあっておきましょう。

そして、集落でも誰が何をするか迷わないように、災害時の対応を事前に決めておくことがたいせつです。

冬の災害を考える

津南町は、豪雪地です。同じ震度の地震でも夏と冬では、被害やその後の対応もまったく違います。

今年3月の地震は、近年の県内地震では、中越地震や中越沖地震に次ぐ規模の地震でした。しかしあれだけの地震で、負傷者が比較的少なかったのは、時期や時間という要素が強く影響したと思われる。もし、

①1月の大雪のときだったら…

②昼間の時間だったら…

③通信網が麻痺していたら…

ほんの少しの違いで、結果は大きく変わったことでしょう。

年が明ければ、すぐあの震災から1年が過ぎます。

今年の冬は、さまざまな可能性に備え、事前に準備をしておきましょう。

自主防災組織の見直し

現在、町内81集落の内、48集落に自主防災組織があります。この3月の地震を契機に、活動を活性化させる動きがみられています。

今年春に、まず陣場下が自主防災組織として、はじめて防災訓練を行いました。さらに10月11日と、大割野と外丸が防災訓練を行いました。

大割野は、昨年の火災と、今回の震災を受け防災マニュアルを作りました。このマニュアルでは、「震度5以上の地震がおきたら、大割野総区災害対策本部を立ち上げ、隣組長から評議員を通じて、住民の安否確認をする。」となっています。

また一時避難所として、役場第2駐車場と文化センター駐車場を指定しています。これは、町指定の避難所とは違いますが集落として、「まずはここに集合！」というルールをみんなが知っていることがたいせつです。

ほかに、火災時の炊き出しなどにもふれてあり、「災害時に迷わず行動できる」ためのルールが掲載されています。皆さんの集落ではどうですか。



↑新たに作り直した大割野総区の防災マニュアル。



↑災害対策本部を設置し、安否確認をする訓練



災害時に、生き残るために…

上の写真は、大倉トンネルが開通する前に行われた、トンネル内での事故を想定した訓練です。

このような大規模な事故時には、南分署のほか、消防本部、栄村の消防とも連携して救急車を手配しますが、大勢の消防職員を動員しても1件救助するのに、とても時間がかかります。さらに災害時には、他にも救助を待つ人がいるかもしれません。

災害時に生き残るために、応急手当や、担架の作り方などは、消防署などが行う講習会や、自主防災訓練などで事前に勉強しておきましょう。



↑水やお湯で炊ける備蓄米「a米」を使った炊き出し訓練（大割野）



↑担架でケガ人を運ぶ訓練をする大割野消防団員。（大割野）

この冬も 早めはやめに除雪。

長野県北部地震があった3月12日の積雪量は、役場前で2mでした。一度も屋根雪を下ろさなかった場合は、2mもの雪が積もっていた計算になります。

雪は、新雪で1立方メートルあたり、50〜150kg、固くしまった雪では、なんと250〜500kgもあるといえます。

日本の平均的な住宅に比べ、雪国の家は、丈夫にできているといわれますが、屋根雪のためすぎは危険です。今回の地震では、除雪管理をしていなかったため倒壊した家もありました。今年の冬は、早めはやめの除雪を行いましょ。



大雪警報・注意報の基準が変わります。

この冬から気象台から発表される大雪警報・注意報の基準が47年ぶりに見直しされます。

【変更箇所】

- ①区域 海岸・平野・山扱い → 平地・山扱い
- ②基準 24時間基準 → 平地は、6時間基準 山扱いは、12時間基準

津南町は、「山扱い」の区域になりますので今回の変更では、これまで24時間の降雪量予測が12時間基準と半分に短くなる点がポイントです。この新基準になったことで、これまでの半分の時間で予測するため警報・注意報の的中率が上がるといわれます。「大雪警報・注意報が、出たときは、かなりの確率で降る。」と覚えておいてください。



5. 災害応急対応

(1)被災住宅及び宅地応急危険度判定

3月13日～14日にかけて19集落548世帯の応急危険度判定を行った。

(2)自宅以外への避難

住宅被災や、避難勧告により自宅に戻れない帰宅困難者に対し、公的施設（空き教員住宅・医師住宅）を斡旋した。その他、親戚宅や民間アパートなどに住み自宅以外へ避難している住民が出た。

■最大18世帯63人（10月31日現在：7世帯30人）

(3)食料支援

断水集落などを中心に、備蓄や救援物資から、水と食料の提供を行った。

■飲料水：20集落 食料：17拠点

■水：3,521ℓ おにぎり：3,436個 パン287個 カップ麺 331個

※水は、魚沼市役所から7日間給水車による支援をいただいた。

(4)入浴支援

断水、風呂の破損などにより、入浴ができなくなった町内外の被災者に、町内6施設から支援をいただき、無料開放を行った。（5月末まで）

■津南町：4,239人、栄村：3,653人、十日町市：119人 ※延べ人数



給水車の支援を受ける寺石集落

6. 救援物資と義援金の受け入れ

(1)救援物資

新潟県、小千谷市、刈羽村等の自治体をはじめ県内外の団体から食料等の支援をいただいた。また、友好交流都市の韓国驪州（よじゅ）郡からも集まった義援金で購入した屋外用テント5張りをいただいた。

■29団体（個人） 主食：4,539 副食：935 水：6,396ℓ

(2)義援金

3月25日から津南町長野県北部地震災害義援金の口座を開設した。

■253件 22,461,381円

7. 東北地方からの避難者対応

前日に起こった東日本大震災や原子力発電所の事故により津南町にも親戚や実家、関連企業を頼って避難者が訪れた。町は、公的施設を提供する等の支援を行った。

■9世帯13名が滞在。

8. 復旧対応

(1)震災復興支援室の設置

総合的な震災窓口として、震災復興支援室を6月末まで休日なしで開設。1日平均10名の相談に対応。

(2)義援金配分（2次配分まで）

全壊住家に100万円、半壊以上住家に50万円を支給。

(3)町補助や被災者負担軽減措置

①建物（半壊以上）の解体処分費の公費負担

②一部損壊住宅を対象とした修理費補助

③住宅再建に必要な借入れ金の利子補給

④住宅応急修理制度

⑤被災者生活再建支援制度

⑥被災宅地復旧支援

⑦地域コミュニティ助成

⑧その他 医療・介護保険等の免除や、税の減免などの措置



防音材を取りはずした上郷小の体育館

長野県北部地震による被害状況（10月31日現在）

1. 地震の規模

- ・発生時刻 3月12日(土)午前3時59分
- ・震度 6弱
- ・マグニチュード 6.7
- ・震源地 新潟県長野県境付近 深さ8km
- ・余震(震度4以上)
3月12日(震度4が3回)
4月17日(震度5弱)
6月2日(震度4)

2. 対策本部等

- ・町災害対策本部設置 3月12日午前4時30分
10月31日正午 解散
- ・災害救助法の適用 3月12日
- ・激甚災害指定(本激) 3月13日
- ・避難勧告 計4地区 8世帯 22人

3. 被害の状況

(1)人的被害 軽症27人(男:12 女:15)

(2)建物被害

被害認定調査を4月18日～5月20日(21日間)実施。21日以降随時受付。

	住家	非住家	合計
全壊	6	42	48
大規模半壊	5	10	15
半壊	42	48	90
一部損壊	724	214	938
計	777	314	1091

(3)道路状況

雪崩、土砂崩れ、道路崩落等により延べ27路線が交通規制。

(4)ライフライン被害

■断水:15集落464世帯(最大) 3月12日～21日(10日間)
給水車対応 断水5集落(田中・寺石・足滝・反里・加用)
濁り3集落(穴山、上郷逆巻、羽倉)

■電気 停電:上郷地区1167戸(最大) 3月12日
午後3時51分完全復旧

(5)避難所の開設と受け入れ状況

町が指定避難所としている小中学校の体育館すべてにおいて、防音ボードの落下があり、危険なため立ち入り禁止の措置をとった。特に被害の大きかった上郷地区においても、小中学校の被害が大きく、住民は集落公民館等を避難所とした。

■最大12カ所 約740人 18日午前10時40分解消

4. 被害額

(千円)

総務課関係被害	6,923
消防関係施設被害(十日町広域事務組合分)	3,263
集落関係被害	31,618
税務町民課関係被害(津南地域衛生施設組合分)	161,018
福祉保健課関係被害	59,210
病院関係被害	5,268
教育委員会関係被害	113,433
建設課関係被害	819,019
地域振興課関係被害	424,722
合計	1,624,474



国道405号(小岡～樽田)



地震直後の上郷小の体育館

暮らしの載 見て・知って・得をする! 情報 かわらばん

新潟県おもいやり駐車場制度 平成24年1月15日(日)からスタート

身体障害者などの歩行が困難なため、新潟県が利用証を交付し、車内に掲げることにより障害者等用の駐車スペースを、適正にご利用いただくための制度が始まります。



- 交付対象者
次の基準に該当し、なおかつ歩行が困難または歩行に配慮が必要なかた。
- ① 身体障害者
障害の種類・等級により異なります。詳しくはお問い合わせください。
- ② 知的障害者
療育手帳所持者

- ③ 精神障害者
精神保健福祉手帳2級以上のかた
- ④ 発達障害のある者
歩行に介助者の特別な注意が必要と医療機関等が認めたかた
- ⑤ 難病患者
特定疾患医療受給者
- ⑥ 高齢者
介護保険で要支援1以上のかた
- ⑦ 妊産婦
母子手帳取得者で産後1年半までのかた
- ⑧ その他けが人または病気等の者
歩行困難の状態が診断書等で確認できるかた

- 申請方法
十日町保健所で申請書様式や専用封筒等を手し(県のホームページからもダウンロードできます)。新潟県福祉保健部障害福祉課へ直接郵送してください。約2週間で、利用証をご自宅に郵送します。
- お問い合わせ
・ 県福祉保健部障害福祉課計画推進係
TEL 025・280・5211
・ 十日町保健所
TEL 757・2400

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

にいがた被害者支援センターでは、被害者のかたが無料で支援を受けることができます。法律により守秘義務が課せられ、情報は厳重に管理されています。安心してご相談ください。また被害者本人やご家族のかたの同意がある場合、警察が代って同センターに連絡をとり、支援が円滑に受けられるようになりました。

- 電話相談
専用電話 025・281・7870
- 面接相談(要予約・祝日除く)
新潟市中央区上所2・2・3
新潟ユニゾンプラザハート館
- 開設時間
月～金曜日、午前10時～午後4時
年末年始を除く
- お問い合わせ
十日町警察署 TEL 752・0110

公的年金等の雑所得に係る 所得税の確定申告不要制度の新設

平成23年度の確定申告から公的年金等の収入金額の合計額が400万円以下かつ、公的年金等に係る雑所得以外の所得金額が20万円以下の場合には、所得税についての確定申告は不要となりました。詳しくは、十日町税務署(TEL 752・3181)までお問い合わせください。ただし右に該当するかたでも、医療費

年末の窓口延長について

証明書を緊急に取得しなければならなにかた及びバスポートの受領のために、年末窓口を臨時開庁しています。証明書の必要なかた、バスポートの受領をしたいかたは役場日直室においでください。

- 臨時窓口開庁
【開庁日】
12月29日(休)・30日(金)
- 【開庁時間】
午前8時30分～午後5時15分
- 【業務】
証明発行及び旅券の受領
- 【発行できる証明書】
・ 住民票
・ 印鑑証明書
・ 身分証明書
・ 戸籍謄抄本
- お問い合わせ
税務町民課 町民班
TEL 765・3113

病院 歳時記 口腔ケアのすすめ

町立津南病院歯科衛生士 津端順子
おいしい食事とおしゃべりをする事は、多くの人が喜びを感じるひとときではないでしょうか。そのためには、咀嚼、嚥下、味覚など、口腔の機能が健康であることが不可欠です。

近年、高齢者の看護、介護の現場では、口腔ケアの重要性が叫ばれるようになってきました。口腔ケアは虫歯や歯周病という歯の問題だけでなく、肺炎などの全身感染症を予防することが分かってきたからです。人の口の中には300種類を超える細菌が数千億個以上生息し、口腔清掃が不十分であると一兆個に達するといわれています。それゆえ、機能の低下した高齢者のお口のケアは、たいへん重要になってきています。入院されている患者様にも毎日実施されている口腔ケア。私たち歯科衛生士も時々お手伝いさせていただきます。



年金コーナー Annuity corner 公的年金等の 源泉徴収票が交付されます。

国民年金や厚生年金から支給される公的年金(老齢や退職事由とする年金)は、所得税法で「雑所得」とみなされ、所得税が課せられます。

このため、日本年金機構では、平成23年1月から12月中旬に「老齢年金」等を受けられているかた全員に「公的年金等の源泉徴収票」を作成し、来年1月31日までに交付する予定です。

源泉徴収票に記載されている事項は、その年の1年間に支払われた年金の総額、社会保険料の金額、源泉徴収税額および控除内容で、65歳未満で年金の支払額が108万円未満のかたや65歳以上で年金の支払額が158万円未満のかたは、所得税が源泉徴収されません。

また、「障害年金」や「遺族年金」については、非課税とな

りますので、源泉徴収票の送付はありません。

なお、亡くなられたかたの源泉徴収票(準確定申告用)は、死亡届を提出されたご遺族に対し、およそ2カ月程度で送付される予定です。

- 確定申告の際に必要です。
- 源泉徴収票を確定申告に添付するのは、次のかたです。
- 二つ以上の年金の支払者に扶養親族等申告書を提出しているかた
- 年金以外に給与等の所得があるかた
- 公的年金等の雑所得の合計額が各種所得控除の合計額を超えるかたなど

- ※不明な点は、ご相談ください。
- お問い合わせ
六日町年金事務所
TEL 025・716・0802

議会コーナー

- <実施された行事>
14日 平成23年第4回津南町議会定例会開会(～16日)
- 11月
21日 平成24年度事業建築要望事項検討会(産業建設常任委員会)
- 25日 新人議員研修会(新潟)
- 28日 平成24年度事業建築要望事項検討会(総文福祉常任委員会)
- <今後の行事予定>
1月
5日 新潟県町村議長会臨時総会(新潟)
- 6日 全員協議会
- 12月
6日 全員協議会
- 8日 議会運営委員会

健康体力づくり100日運動

毎月10日までに100日運動カードを提出いただいたかたを、このコーナーでご紹介します。(敬称略)

- 3700日 藤ノ木キミ(堂平)
- 3600日 桑原マサノ(貝坂)
- 3100日 桑原正輝(豊郷)、板場キヨ(辰ノ口)
- 900日 大倉進(小下里)
- 600日 大倉時江(小下里)、本山マサ(反里)
- 500日 和久井かつ子(大割野)
- 100日 高橋富栄(小島)

主な運動:ラジオ体操、テレビ体操、ウォーキング、水中運動他



↑大きな被害が出た長野県北部地震

- 1月
 - ◇中学生ユニバーサルホッケー全国大会に出場した「フェニックス」が全国優勝!
 - ◇24日間にわたる連続降雪のため、各交通機関に多大な影響。
- 2月
 - ◇国体冬季スキー大会にて津南勢2選手が出場した少年男子リレーで新潟が6連覇を達成。

- 5月
 - ◇役場からFM新潟ラジオ公開生放送!
- 6月
 - ◇津南町認証米のロゴマーク決定!
 - ◇つなん合唱隊による「1周年記念&千の風音楽祭出場記念発表会」



- ◇東京に津南町観光情報の発信拠点を設置。



↑津南をかすめた新潟・福島豪雨

- ◇「響くみんなで手をつなごう」が「がんばろう栄村」津南町と栄村が県境を越え、両町全180集落約250kmを走り抜く。
- ◇テレビがアナログ放送から地上デジタル放送に切り替え。
- ◇保育園や学校などの放射線量を測定。
- 8月
 - ◇津南町スポーツ少年団の社会人野球チームによる野球教室。



↑大倉トンネルがついに完成。

応募方法

ハガキ、FAX、Eメール等に住所、氏名、年齢、電話番号、そしてあなたが選んだ5大ニュースを1位から5位まで記入し、〒949-8292「役場総務課5大ニュース係」までお送りください。1月31日(火)の消印のあるものまで有効です。
 ●FAX 765-4625
 ●Eメール somu@town.tsunan.niigata.jp



↑新人4名を含む新議会スタート。

2011津南町5大ニュース募集

今年もこの時期がやってまいりました。年末恒例の「津南町5大ニュース」を募集します。この1年を振り返り、皆さんの記憶に残った出来事をお送りください。2011年は、大雪、地震、水害と災害が多かったですが、明るく楽しい出来事もたくさんありました!皆さんの心に残ったニュースをエピソードを添えてお送りください。抽選で豪華(と思われる)賞品が当たります。たくさんの方のニュースをお待ちしています。

- ◇結束集落の石垣田での田植え、山菜料理の体験ツアー。
- 7月
 - ◇マイタウンコンサート「津軽三味線・津軽民謡」が開催。
 - ◇インド古舞踊「オリッシ」が津南を励ますため公演される。
 - ◇7月新潟・福島豪雨。

- 9月
 - ◇来春に閉校する上郷中学校の最後の体育祭。
 - ◇手作りの「つるし雛」寄贈。180種類の手作り雛全3039個が、見事なつるし雛となり飾られた。
- 10月
 - ◇津南町防災メールを開始。
 - ◇人権啓発キャラバンが中津小学校を訪問。
 - ◇「La Festa Autunno 2011」クラシックカーで震災支援。約90台の名車に多くの観客が魅了されました。
 - ◇大倉バイパス開通式!長年改良を希望していた国道117号線大倉スノーシェッドが、新しく生まれ変わった。

- 11月
 - ◇河岸段丘花火大会
 - ◇上郷中学校閉校記念式典
 - ◇新町議員による初議会。新議長に河田強一氏が選ばれる。
- 12月
 - ◇結婚相談員による「クリスマスパーティー」開催。男女約20名ずつ集まり、ゲームを交えつつ楽しい夜を過ごした。

NEWS 05 うまい認証米をピールール

— 11/22 津南町認証米試食会 —

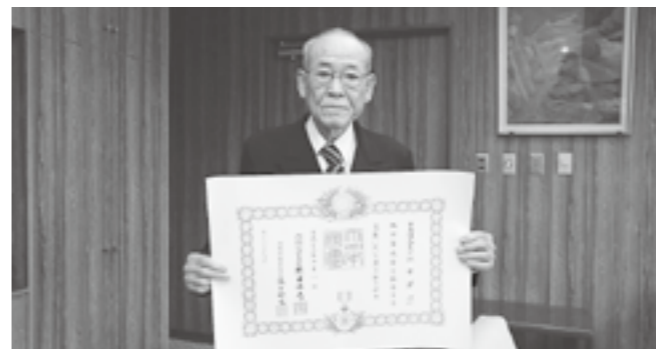


↑ 認証米を全国にピールールする食の大使に任命された大西さん

厳しい認証基準をクリアした津南町認証米の出荷に合わせ、認証米の試食会が行われました。試食会には、京料理の老舗「美濃吉食品」の大西社長が訪れ、「食の大使」に任命されました。大西社長は、同社で取り扱うお米を津南町認証米に切り替え、認証米を宣伝してくれます。

NEWS 04 おめでとうございます。

— 平成23年 秋の叙勲・褒章 —



↑ 旭日単光章を受章された江村詳一さん(巻下)

江村詳一さんは、昭和58年から3期12年間を町議員として活躍されました。この長年にわたる町政への貢献が評価され今回の受章となりました。おめでとうございます。

NEWS 05 子どもたちを守る訓練

— 12/8 津南小学校 不審者侵入訓練 —



↑ 警察官が行う「取り押さえ」を確認する先生たち

不審者が校舎に侵入する想定で訓練が行われました。今年度は、通常の訓練のほかに実際に犯人が教室で暴れる訓練を児童の下校後に先生たちだけで行いました。学校は緊迫した訓練を行うことで新たな課題を見つけ、もしもに備えています。

つなんまちかどスケッチ

Tsunan Event Sketch.



NEWS 01 日本スポーツ少年団顕彰受賞



↑ 授賞式に出席した滝沢和彦本部長

昭和53年に4種目から始まった町スポーツ少年団は、今年で33年目を迎えました。現在は7種目まで増え、各団体でのスポーツ活動に加え、種目を越えてのボランティア活動などが評価され、日本スポーツ少年団の「市町村表彰」を受賞しました。これからも、子どもたちの元気な活動にご支援をお願いします。

NEWS 02 絵本から広がる世界

— 12/3 絵本講座 —



↑ 昨年に引き続き講師に来ていただいた朝日仁美さん

2週にわたり絵本講座が開催されました。講師の朝日さんは、テーマに沿って数冊の本を紹介していく「ブックトーク」という手法を実演してくださいました。「本の中のともだち」をテーマに実際に本に出てくるともだちの住んでいる国を地球儀を使って探してみたり、今話題のプータンという国と日本との友好の歴史を本を通して紹介してくださいました。

地域包括支援センターです

第2回認知症フォーラムを開催しました。

町では認知症のかたを地域で支える体制づくりに取り組んでいます。

11月20日(日)に町文化センターで第2回認知症フォーラムを開催しました。

当日は、認知症の寸劇、関係者、関係団体によるリレー報告、そして公益社団法人認知症の人と家族の会新潟県支部代表 金子裕美子さんの『認知症になっても笑顔で暮らしたい』と題した基調講演が行われ、50名以上のかたからお集まりいただきました。

ここからは、当日の金子さんの講演資料から、講演の内容についてご紹介いたします。

金子裕美子さんは家族の介護経験や現に介護をしている立場から、認知症の人の気持ちに沿ったお話をさせていただきました。

誰でも「認知症にだけはなりたくない」と思っています。

・人に迷惑をかけてしまう
・記憶をなくして、自分が自分でなくなってしまう

・恥ずかしい

○認知症という病気をどうとらえるか

・絶対になりたくない病気
・みじめ、恥ずかしい、迷惑をかける
・自分は認知症にならないと言えますか
・認知症がなくなれば幸せになれるか
・認知症があると幸せになれませんか。

○認知症介護の道のりは長丁場

・いつまで続くか先が見えない
24時間365日の介護が平均10年近く、最初が肝心、山場は前半（軽い介護度の方が大変）
・早めの相談、介護サービスの利用をひとり抱え込まない。気軽に「助け」とまわりに声を出して

・認知症ケアは迷いの連続
本人の思いはどこにあるのか。

○認知症の人の思いは？

・たくさんの症状は、本人のSOS
介護が大変な時ほど、本人自身がどうして良いかわからないで苦しんでいます。



今月は
大口洋子 保健師

元気・笑顔・輝く私たち!!

一人ひとりが自分らしく暮らすために、町の検診をい活用ください。

今年も残すところわずかとなりました。豪雪で難儀した後の長野県北部地震、家屋や田畑の被害さらに水害が加わりました。予期せぬ災害に今も難儀しておられるかたも少なくないと思います。

地震被害の大きかった上郷、外丸、三箇、芦ヶ崎地区に健康調査で訪問しましたが、今も「一人になるのが不安」という声が聞かれます。大きな災害の後にはさまざまなストレスを感じます。

災害直後のさまざまな反応は異常な事態に対する正常な反応ですが、期間が長引く、いまだに眠れない、仕事ができないなどの日常生活に影響がある場合は主治医や専門家に相談してみましょう。

中越地震で大きな被害を受けた小千谷市の5年後の調査では中越地震の後に働き盛りの年代に脳卒中の発症が増えたという話をききました。働き世代は被災した自分の家庭の事にプラスして職場での忙しさが加わり、休みがとれないまま働き続けて、病気が発症したのだそうです。津南町でも今年の豪雪時期から身体の疲労の上に3月の地震、心労も重なっています。働き盛りの年代は特にご注意ください。

今年度の町の特定健診や各がん検診の受診者は減少しました。地震後の忙しさに受けられなかったのではないかと考えられます。また、今年度検診を受けていたかたで、検診後の精密検査をまだ受診していないかたも見受けられますので、早めの受診をお願いします。

町民皆さん一人ひとりが元気で笑顔で自分らしく暮らすために、健康調査を活用していただきたいと思えます。

平成24年度の町の健康調査や胃がん、大腸がんなどの各がん検診の申し込みが始まりますので、ぜひ申し込みをお願いします。



↓認知症の人は信頼している人に一番ひどい症状を見せます。

・心は豊かに生きています。

瞬間瞬間に感じる喜怒哀楽は豊かです。

↓うれしい気持ちの余韻は残ります

↓怒りや悲しい気持ちは尾を引きます。

○認知症の人がうれしいことは？

・介護者の笑顔
・なじみの環境や人
・ゆつくり、おだやかな対応
・「そのままでもいいよ」と言ってくれること

・人の役に立っているという喜び

4つの鯛が持てるように

役にたち鯛 認められ鯛
ほめられ鯛 してあげ鯛

○認知症に人のお付き合い

①ほめる、感謝する
(ありがとう。助かるわ。)

②同情する
(大変ですね。苦労されたんですね。)

③共感する
(よかったね)

④謝る、事実でなくとも認める
本人の世界に合わせる

「できることを奪わない、できないことを強いらぬ」

○してあげる介護から生きることへの支援へ

・何もできなくなったわけではない
・生きてきた知恵や底力を秘めている

・できないのではなく、機会がない
↓さりげないお膳立てと助け舟を
・自分らしく生きることを支える

○家族にも十分なケアを

・介護者の思い
・自分の時間をもちとられる介護(24時間張り詰めた気持ち)
・大切な家族が変わってしまった悲しみ(やりきれない思いを抱える悲しみ)

○介護者からのお願い

・今までどおりのお付き合いを(さりげないひとことがうれしいのです)
・うわさ話のタネにしないことも大切な協力

○サポートする人が心がけたいこと

・認知症の人がどんな人か、その人の自信と誇りを知ろう。
↓知って、その人を尊敬できる自分をつくろう

・傷つく言葉や態度を知ろう

↓知って、その人が傷つかない自分をつくろう。

・自分の考えを押し付けない

↓相手の思いを知って、自分を変えていく柔軟さを持つ。

・自分も相手も笑顔になる言葉をみつけよう。

↓見つけて、共に生きる喜びと感謝の気持ちを伝え合おう。

健康づくり ア・ラ・カルト

50代の初挑戦

ペンネーム BBT

「アーキもちいい」
「体が軽いね」
今日の合言葉みたいに、クアハウスから出ると当然のように口から出る会話です。

4年前に何かのきっかけでプール話題になり、勤めている人に聞いて、クアハウスの流水エクササイズに通うようになりました。

暑い夏でもプールになんか入ったことないのに(笑)とても寒い12月から長袖の水着を着て始めました。今のプールの温度と違い、とても冷たくて、ほんとうに入るのに覚悟がいりました。(笑)
教室が終わると寒くて温泉で温まるのがとても楽しみでした。教室の参加者や指導者たちと、まじめな話や冗談話、ウワサ話に花が咲いたりしました。月日がたち、教室に入っていない人たちから「痩せたね」って言われるとうれしかったです。(でも実はそんなに痩せてはいなかったんですけど)体がある程度引き締まってしまうと!?あとはなかなか変化がなくて「何か効果ある?」って聞かれても「うーん。あんまり...」と答えていたら、その時の指導





「図説 世界の七不思議」

ラッセル・アッシュ／著 東京書籍 2,000 (税別)

「世界の七不思議」といわれる人類の偉業をのぞき見る図鑑。

広報ライブラリー 12月 -師走-

ブックタイム BT BOOK TIME

今年も、あと数日です。年末が近づくと、毎年「お正月用」と本を借りに来られるかたもいます。テレビの代わりに「本を見る」のただです。

テレビに疲れたら、「図説世界の七不思議」で、古代の人々が作り上げた不思議な世界に夢中になつてみるのもいいかもしれません。でも、なぜ「七不思議」というのでしょうか。その「7」という数字の不思議についてはこの本の最後をお読みください。

さて、2011年の終わりはどんな本が多く貸し出されたのでしょうか。本を選ぶのに迷っているかたは、こちらを参考にしてみてくださいいかがでしょうか。

《一般書》

■ベストリーダー

(貸し出しが多かった本)

- 1位「黄泉から来た女」 内田康夫／著
2位「花の鎖」 湊かなえ／著
3位「やなりいなり」 島中恵／著

■ベストリクエスト

(予約が多かった本)

- 1位「マスクレード・ホテル」 東野圭吾／著
2位「警官の条件」 佐々木譲／著
3位「謎解きはディナーのあとで2」 東川篤哉／著

《児童書》

■ベストリーダー

- 1位「たいせつなこと」 マーガレット・ワイス・ブラウン／作
2位「恐竜トリケラトプスとアロサウルス」 黒川みつひろ／作絵
3位「ことばどんどん」 内田麟太郎／文

■ベストリクエスト

- 1位「RDG 5」 荻原規子／著
2位「タラ・ダンカン 7(上)」 ソフィー・オドゥワン・マニコニアン／著
3位「かさぶたつてどんなぶた」 小池昌代／編

このほかには、一般書では「チムふたり」などシリーズの児童書を出している吉野万理子著の「思い出あずかります。」や、沼田まほかる著の「ちよつと怖い読み物「ユリゴコロ」」今野敏著「エチュード」、テレビドラマのために書き下ろしたという湊かなえ著の「境遇」、小説以外では、プロサッカー選手長谷部誠著「心を整える」や昨年ベストセラーとなった「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら」などの問い合わせが多くありました。

児童書では、「怪盗ファントム&ダークネス」(藤野恵美作)や、ロングセラーの「からのパンやさん」(かこさとし作絵)、黒川みつひろ作絵の「恐竜トリケラトプスシリーズ」、そして、あさのあつこ著「バッテリー」などが人気でした。
来年は、どんな作品に出会えるのでしょうか。楽しみです。
そして来年も、皆様のお越しをお待ちしております。
どうぞ良いお年をお迎えください。

☆年末年始休館日のお知らせ

町公民館図書室・町公民館は、12月28日(水)〜1月3日(火)までお休みとなります。
年明けは1月4日(水)から開館します。

つなごの文芸

短歌

砂丘

展示せるパッチワークの作品に

仲間集ひ垣間見ること(津南グループ)

雨の中「段丘花火」あがりたり

見えざる人の力で見ゆる

頬にふれて少し冷たき秋風に

仕舞ひ忘れの風鈴の鳴る

手の平で葛の葉たたく草遊びに

子ら熱中し葉を取り競う

月の無き夜の静寂をゆく

水のかそけく清き音のしてゐる

光水風みな清き草原の屋を

鈴虫の声澄み満てり

体調を崩せる今夏は家の廻り

雑草茂りて蛇も棲むらし

増産めざしし沖の原台地

鯨汁夕顔あんかけ好みたる

夫を思ひて厨に立ちぬ

病む今は生きるをつらく思へども

声あげ笑ひし日のかつてあり

家猫の仰ぎ見てゐる秋空に

綿飴思はず雲浮かびをり

池の端の石から石へふんはりと

おはぐる蜻蛉移りゆきたり

高原の陽光淡きイモリ池晶子の

歌碑を蝉しぐれ包む(妙高高原)

ちろろ小橋渡りて歩む細道に

熊の足跡ひとつ印さる(北海道)

長生学園

校庭の桜の葉みな散りつくし

今年の秋も終わらんとする

仲秋の満月浮かぶ山端より

遍く照らす地震の傷跡

俳句

岩すげ俳句会(十一月)

トラックに空見て帰る案山子かな

一枚を羽織りて朝の菜を間引く

茸狩つぶれてをりし塩むすび

秋の蝶纏れて片や落ちにけり

熊笹に雨音荒き紅葉谷

秋刀魚焼く炎に青き海の色

自然薯の折れて掘る気の失せにけり

日向ぼこ擦り寄る猫を撫でながら

選挙戦終はり小春日もどりけり

刈り終へし田に野宿してコンバイン

立冬の姿見の前衿正す

年取れば仕事の疲れ後にくる

友と一緒に風邪を引くなり

秋の風池面に写る山影は

ひと時にして揺れて歪みぬ

今日開通行き交ふ車生生きと

広く明るし大倉トンネル(十月十五日)

富沢 キミ

板場 寛

島田 眞之

房良

妙

貞

千年雄

れい子

芳司

酔花

渡舟

兎月

しげる

冬詩子



Pen Relay

本とわたし

高波博さんから

紹介する本

だいききなグー

文/ごとうやすゆき 絵/いもとようこ 出版社/PHP研究所

金井良平さん(大割野)



絵本は深い

「絵本なんて」と思っているかたもいるかもしれませんがね。正直、自分でもペンリレーって絵本でもいいの不安に思いながらの執筆です。この絵本との出会いは、新潟県立万代島美術館でやっていた「いもとようこ絵本原画展」でした。いもとようこさんは和紙の貼り絵

に着色するという独特の技法を使っている、とても温かみのある画風です。一度は見たことがあるかもしれませんが、「いないいないばあー!」(NHK教育テレビ)に登場する童謡アニメーションも手掛けています。原画展の最後に自由に絵本を手にとって読めるコーナーがあり、そこで嫁が何気なく手にした絵本。それが「だいききなグー」でした。嫁はその絵本を読み終わり、人目もはばからず、涙していました。私もすめられて読みました。私は泣いていないですよ。アクビをしただけです。ストーリーは子どもと犬が出会い、そして…。あまり話してしまつと全部話してしまいそうなので、とにかく大好きのかたは必見です。絵本には、「絵」と「短い文章」しかありません。それゆえにメッセージ性は強く、ズシンと心に響くのかも知れません。最後に、絵本を選んだのは、手抜きではありませんよ。ほんとうに、素敵な物語なので皆さんも読んでみてください。次は、商工会青年部のお笑い担当、藤ノ木聖治君を紹介します。

いきいき
大好町
大津南

会社の健康管理について 聞いてみました。

津南町が元気であるためには、赤ちゃんから高齢者までそれぞれの年代が元気で笑顔でいることが必要です。今回は、高橋工務所さんの職場（職域）での健康づくりの取り組みを紹介いたします。

① 健康診断

当社は主に土木・建築工事を業とする企業です。現場では健康管理が安全への第一条件であります。現場で事故が発生すると、擦り傷では済まない事がおおにしております。後で原因を調査すると体調不良に起因する怪我が発生することがあるので、日々の健康管理が非常にたいせつになります。当社での健康への取り組みの中から3点をご紹介します。

② 安全衛生委員会

毎月末には協力業者を含めた約60名にて安全衛生委員会を行っています。委員会は、約30分間講話があり、保健師、産業医、消防、警察のかたがたにお願いしています。今年も、津南町の保健師さんからメタボリックシンドロームについて話していただき健康管理に役立てています。



↑ 役場の保健師による講話

③ 現場での健康管理

毎日の作業は、ラジオ体操から始まります。（ラジオ体操は、身体をほぐすことにたいへん効果的で安全作業に欠かせないものです。）

次に安全ミーティング・危険予知活動（TBM・KYといいます）を行い作業員の体調に合わせた作業指示を行います。当社は野外での仕事が多く、特に夏場は熱中症になりやすいので各現場には、熱中症対策として、レモン水などを用意したり、首に直射日光が当たらないように「ずしん帽」という用品を用いて予防しています。



↑ ラジオ体操風景

働き世代の健康づくりは元気で働き続けるために必要です。しかし忙しい年代でもあるため健康づくりや検診は二の次になりがちな年代でもあります。今回は、高橋工務所さんの協力をいただき、職場で取り組んでいる健康づくりを紹介していただきました。忙しい中、ありがとうございました。「うちの会社は〇〇をしている」「うちはずっと△△を何年も続けている」等ありましたら、広報つなんの紙面で紹介してみませんか？連絡をお待ちしていますね。

■連絡先 津南町役場 福祉保健課 健康班 TEL.765-3114 内線(138・139)

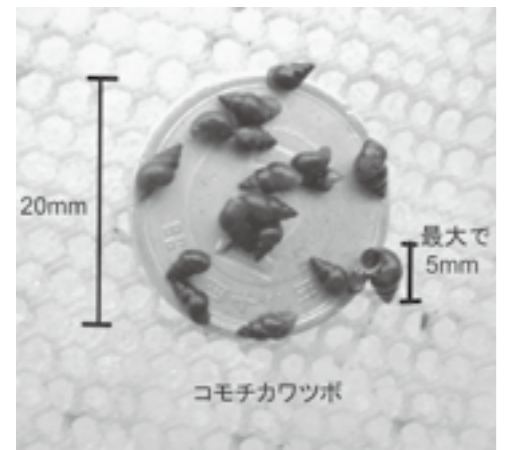
見発見再まちの

津南の自然 その353 (2011.12)

津南のホタル事情⑨ ホタルの偏食3

写真のようにコモチカワツボは成長しても大変小さい貝です。カワニナと同じく流れや水温が一定して藻類や植物があるなどの生育条件がそろくと大量に繁殖することがあります。カワニナと違って自分の体内で効率よく栄養分を消化する代謝機能が優れているようで、ホタルの幼虫が食べても栄養価の低いエサといわれています。

ゲンジボタルの幼虫はふ化直後では1.5mmで、最後の7令幼虫では25mmほどに成長します。この間に次々と体に合わせた大きさのカワニナを食べていくのですが、コモチカワツボと同じエサを食べる栄養価の高いカワニナが食物を奪われ、数が減少してしまうと小さいコモチカワツボを大量に食べるより仕方がなくなるわけです。場合によっては体の大きくなつたメスではエサとして食べる事ができ



ないのかも知れませんが、大きさにあまり差異の見られなかったオスはともかく、メスで栄養分不足は致命的なものとなるでしょう。

「なじよもん」でゲンゴロウの幼虫を飼育したことがありますが、幼虫時代のエサが充分でなかったため小さい体の成虫となりました。生き物は与えられた環境に応じた適応をして成長しますので、小さいながらも成虫になることはできます。しかし生物が長い過去の進化のなかで獲得してきた種の保存のためのメカニズムはいきなり変わることができないために、トラブルが発生した段階でその種が絶滅することも充分考えられることです。

コモチカワツボのもたらす影響は、また未確認の分野が多いのですが、ホタルにとっては脅威の存在であることには間違いないようです。

津南町自然に親しむ会 村山郁夫

津南石造物散歩

175

つまり石仏の会 文責 桑原和位

釈迦如来

釈迦如来に対する信仰は、仏教の開祖であるために、時代や地域を問わず広く見られます。仏教が伝わって以来今日まで、多くの宗派によって信仰されています。

釈迦如来は、如来のなかで歴史上に実在した唯一の仏です。西暦紀元前560年ごろインド（現在のネパール）で生まれました。29歳で出家し、厳しい修行をした結果、35歳で仏陀となりました。以来45年の間、各地を巡歴、多くの人々を教導して、仏教を広め深化しました。80歳のときに、クシナガラにおいて涅槃に入られました。

釈迦如来は、実在の人物ですが、その偉大さから釈迦牟尼仏と崇められ、やがて神格化されていきました。そして、永遠に衆生を救済する仏尊として尊崇され、寺院に祀られています。

釈尊の像容のなかで、もっとも多くみられるのが、大衣をまとい、装身具のいっさいない姿です。頭部は肉髻・羅髮で、額の中心に百毫があります。上半身に大衣を着し、両肩に袈裟をかけています。下半身は裳を覆っています。右手は施無畏印、左手は与願印を結ぶ



法隆寺金堂(図録より)

我が家の ごっつお

さつまいもの肉巻き

紹介者 島田玲子さん(宮野原)

光陰矢のごとしとか申しますが今年もいよいよ余日少なく、こころ気ぜわしい日々ですね。おせち料理の一品に加えてみてください。

<材料>

- | | | |
|--------------|-------------|-----|
| さつまいも……100 g | 砂糖………30g | } A |
| 豚もも肉………180 g | 水………200 cc | |
| | しょうゆ……40 cc | |
| | みりん………10 cc | |



<作り方>

- ① さつまいもは、拍子切りにして水にさらしてあくを取る。
 - ② 豚肉を広げてさつまいもを巻く。
 - ③ 鍋にAの調味料を入れて煮込む。
- 冷めてもおいしいので、お弁当のおかずにも最適です。また、いものほかに「ごぼう」を巻いてもおいしいですよ。
皆様良いお年をお迎えください。



大自然の津南町で 農業体験

今回で12回目となる狭山市民の農業体験、大井平原の圃場で田植え、稲刈りの体験をしていただきました。

参加した家族の皆様から、うれしい声が届きましたので、紹介します。今後もおおぜいのかたから参加いただき、津南の魅力を知ってほしいと考えています。

【田植え、稲刈りを体験して】

- ・足がとられるかと思いいらハラハラドキドキでしたが、楽しく田植え体験ができました。(栗原)
- ・お米作りのたいへんさが分かりました。子どもたちは泥だらけになりながら楽しんでいました。(武井)

【津南のおにぎり、野菜、山菜料理を食べる】

- ・コシヒカリのおにぎりは格別なおいしさでした。雪下になじんの甘さ、アスパラの柔らかさに驚きました。(小林)



↑田植え体験(5月)

・食べたことのない山菜や野菜料理をおいしくいただきました。料理方法も知ることができてよかったです。(武井)

【津南町にきて】

- ・自然が素晴らしいので、食べ物も水もおいしく、人もやさしくて、いいところだと感じました。(武井)
- ・毎年、津南に行くことを楽しみにしています。子どもたちにとつて、毎年行く田舎のような感じでたいへんありがたいと思っております。(松本)

農業委員会窓

大地に生きる



たけはる 山田 丈晴さん(26歳 朴ノ木坂)

大学卒業後、後継者として養豚業に取り組んでいます。家族経営協定を締結し、来年は経営規模の拡大を予定しています。「津南農業と養豚業の発展に貢献したい」とのこと。養豚農家の若い良き仲間も多く、今後の活躍が期待されます。

狭山市農業祭

狭山市J.Aいるま野で開催された「狭山市農業祭」に参加しました。当日は、津南の米、もち、漬



↑稲刈り体験(10月)



↑狭山市農業祭

物等の販売、四季の写真パネルの展示を行いました。当日は天候に恵まれ、おおぜいの人が会場を訪れ、津南農業と観光のピーアールができました。

農業委員会の主な動き

【実施された行事】

- 〔10月〕
 - 15日 狭山市民農業体験(稲刈り)
 - 17日 農政・振興各部会
 - 19日 企画会議(建議要望検討)
 - 24日 第4回農業委員会総会
- 〔11月〕
 - 1日 新潟県農業委員会大会
 - 7日 建議要望書の提出
 - 15日~16日 新潟県女性農業委員研修
- 20日 狭山市農業祭
- 25日 第5回農業委員会総会

【今後の行事予定】

- 〔12月〕
 - 26日 第6回農業委員会総会
- 〔1月〕
 - 26日 第7回農業委員会総会議会懇談会

農業者年金に加入しましょう

- ~農業者のかたなら広くご加入いただけます~
- 加入条件 ①国民年金の第1号被保険者 ②年間60日以上農業に従事するかた ③60歳未満のかた
 - 農業者年金のメリット
 - 少子・高齢時代に強い積立方式の年金!
 - 終身年金で80歳までの保証付き!
 - 支払った保険料が全額社会保険料控除!
 - 手厚い政策支援! 保険料に国庫補助も
- ☆詳しくは、農業委員会、JA 津南町信用課まで

結婚相談員から 愛を込めて

12月2日(金)に結婚相談員会 議主催のクリスマスパーティーを開催しました。結婚したいと思っている皆さんを応援します!!

災害に見舞われた今年も、まもなく暮れようとしています。大震災の後には結婚するカップルが増えているそうです。一人では支え切れないことも、辛い時、大変な時に自分を支えてくれる人がいてくれるとがんばれる。そんな気がします。誰かを幸せにする、支えるという事は、「自分も幸せになれる。」という事だと思えます。

誰しも忙しい昨今、少子化の影響や都会への人口の流動化から地方での出会い自体が全国的になかなか難しいご時世となっております。

そんな中、先日(12月15日)のXmas(クリスマス)パーティーには男性23名、女性22名と多くの皆さんにご参加いただきました。会話が楽しく、弾みと気あいあいとした皆さん、こつこつイベントに参加していたたく事で出会いも生まれます。男女問わず交友関係が広がり、そこからまた出会いも生まれる訳です。町のイベントには、ぜひ参

加していただきたいと思えます。参加者の皆さんからは皆楽しかったという感想をいただいておりますのでぜひ!!。理想の男性を三高といっていた時代は昔の事です。今は女性も働く時代、給料が低くても優しく、家事を手伝ってくれる人、子育てを手伝ってくれる人がもてるそうです。今後皆さんのご意見などを聞きながらいろいろな企画を立てて行きたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

来年は皆さんにとって良い年になりますように。

津南町結婚相談員会 副会長 林トシ子



なじよもん通信

NATJOMON T-SUISIN

戸籍の窓

おめでとう
おさいます (出産)

桑原 ^{のぶと} 伸仁(正面) 博さん
綾乃さん

柳澤 ^{ひまり} 陽莉(大割野) 哲也さん
梢さん

すえながく
おしあわせに (結婚)

大口 賢さん(割野) }
阿部由紀子さん(大割野) }

小林 賢さん(新潟市) }
林 みさきさん(陣場下) }

高浪匡兵さん(中子) }
樋口美和子さん(豊郷) }

おくやみ
もうしあげます (死亡)

石田利正さん (80歳・大割野)
藤ノ木孝さん (59歳・正面)
久保田ちよさん (92歳・羽倉)
宮川道子さん (91歳・陣場下)
池田重正さん (80歳・大割野)
高橋重光さん (66歳・源内山)
富澤久平さん (88歳・船山)
大口シズイさん (86歳・米原)
村山惣一郎さん (86歳・上段)

今年も残すところあとわずか…なじよもんでは館内をお正月バージョンに模様替えして、気持ちよく新年を迎える準備をしています! なお、なじよもんは12月29日(木)~平成24年1月3日(火)の間休館となりますので、お間違えのないようよろしくお願いいたします。

○貴重な品々ありがとうございました!!

なじよもんで探していましたぬか釜、せんべ焼き器、布ぞうり用布など、皆様のご協力により集まりました! ありがとうございます。藍甕(直径45cm、高さ60cm位のもの)は引き続き探していきます。



ぬか釜



せんべ焼き器・型焼き器

予約受付中!
当日受付も可
※ただし定員になり次第締切ります

1月 【なじよもん ☎ 765-5511】

日時	プログラム	内容	金額	対象
8日(日) 13:30~	アングイン編み	縄文時代から続く編み物技術「アングイン編みのコースター」に挑戦。横糸は、トモロコシの皮を用います。	1,000	高学年から
9日(月) 9:00~11:00	スノーシューで森へ(Ⅰ) 野外	スノーシューをはいたら、雪の上をどこまでも歩けるよ。なじよもんの森を歩いて堅穴住居で縄文ハープティーをどうぞ!	300	低学年から
15日(日) 13:30~	わら細工	昔から育まれてきたわら細工の技術。自分の足にぴったり合ったぞうりを一足作ってみよう!	500	高学年から
22日(日) 13:30~	ヤママユガの蔦から糸とり	天蚕糸は縄文人も利用していた? 緑の蔦から生糸を引こう。	300	高学年から
29日(日) 13:30~	ヤママユガ糸より・かせあげ	ヤママユガの蔦からひいた糸に撚りをかけて使える糸にしてみよう。	300	高学年から

※友の会の皆さんは半額です。

広報編集室

今年ほど1年がはやく感じた年はありません。

新年から続いた大雪は災害救助法の適用一歩手前までいきましたし、その後は東日本大震災・長野県北部地震と続き、大雨まできたときには、ほんとうに職員一同青ざめました。

さらに地震災害に加え、原発の避難者受入や放射能問題など、次から次に出る新たな課題や、コロナ変わる支援策に翻弄された1年間でした。今振り返っても、震災直後から半年くらいは、何をどうやっていたか思い出すがむずかしいほどです。

一方で、この地震を通じて防災へりに乗ったり話題の国会議員さんが突然来町されたり、通常できない業務をたくさん体験することができました。

運動不足も加わり心身共に一回り大きくなった(笑)でした。来年は、仕事と健康管理を充実させて、腰回りのみ小さくしたいと願っています。

それでは良いお年を…。(笑)



なじよもんクリスマス展の作品

津南町の人口

■人口10,930(-15) 男5,335(-10) 女5,595(-5)
12月1日現在()内は前月比
■世帯数3,630(-3) ■転入/10 ■転出/14 ■出生/4 ■死亡/15 ■婚姻/3